



児童生徒理解に基づいて 成長を促す生徒指導の充実



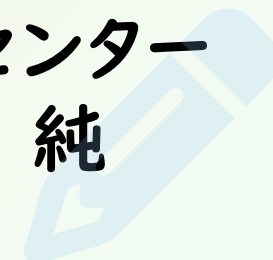
この時間のキーワードは「生徒指導」です。
グループ活動や体験的な活動などを通して
今後に向けて準備していきましょう！



🕒 120分間



令和7年11月20日(木)
群馬県総合教育センター
研究企画係 柏木 純



1. はじめに この時間のねらい

1

はじめに

2

生徒指導について

3

児童生徒理解について

4

実際の対応について（グループ検討→全体共有）

5

最後に



1. はじめに この時間の流れと内容

1

はじめに

- この時間のねらい
- この時間の流れと内容

2

生徒指導について

- 「生徒指導」の定義・目的
- 「自己指導能力」とは
- 生徒指導の実践上の視点
- 「指導」から「支援」へ
- 生徒指導の重層的支援構造(2軸)
- 生徒指導の重層的支援構造(3類)
- 生徒指導の重層的支援構造(4層)
- 発達支持的生徒指導
- 課題予防的生徒指導(課題未然防止教育)
- 課題予防的生徒指導(課題早期発見対応)
- 困難課題対応的生徒指導

3

児童生徒理解について

- 児童生徒理解とは
- 児童生徒理解の方法

4

実際に対応を考える

- グループにおける検討
- グループ入力シート一覧

5

最後に

- 学校現場に出るにあたり
- 参考・引用文献



講義



グループ活動

2. 生徒指導について 「生徒指導」の定義・目的

すべての教職員が、生徒指導を正しく
理解し実践する上でのガイドライン。

生徒指導提要

令和4年12月

文部科学省



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

生徒指導の定義

生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を**支える**教育活動のことである。なお、生徒指導上の課題に対応するために、必要に応じて**指導や援助**を行う。

生徒指導の目的

生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を**支える**と同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を**支える**ことを目的とする。

これまでのイメージは…



これからのイメージは…



児童生徒一人一人が**自己指導能力**を身に付けることが重要

2. 生徒指導について 「自己指導能力」とは

自己指導能力

児童生徒が、深い自己理解に基づき、「何をしたいのか」、「何をすべきか」、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定して、この目標の達成のため、自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力。

～「自己指導能力」を身に付けた児童生徒のイメージ～

朝の会

司会や連絡係として、自分から全体の動きを整える。



授業中やその後

他の人の意見を聞いたうえで、自分の考えを整理して発言する。



分からないところをそのままにせず、後で調べたり先生に質問したりする。



休み時間

グループに入れない友達がいたら、自分から声をかける。



その他

自分の進路や職業について、関心のあることを調べてみる。



生活記録などで、「今日は～を頑張れたから、明日は…しよう」と自分で考える。



給食

配膳の手順を考えて、全員がスムーズに食べられるよう、準備を工夫する。



怒りそうなときに深呼吸して落ち着いたり、気持ちを言葉で伝えたりする。



「相手の気持ちはどうだったかな」と考えて自分から声をかける。



清掃

誰かに言われなくても、汚れている場所を見つけて掃除を始める。



投稿前に「この言葉は相手を傷つけないか」自分で判断する。



テストの結果を見て、自分の苦手なところを分析し、勉強の仕方を工夫する。



2. 生徒指導について 生徒指導の実践上の視点



少子高齢化社会

予測困難な変化や急速に進行する多様化への対応



不測の社会的危機



高度情報化社会



多様な他者との共生と協働

実感させることが大切!

主体的に課題に挑戦すること

多様な他者と協働して
創意工夫すること



① 自己存在感の
感受

② 共感的な人間
関係の育成

③ 自己決定の
場の提供

④ 安全・安心な
風土の醸成

学校生活のあらゆる場面で、「**自分も一人の人間として大切にされている**」という**自己存在感**を、児童生徒が実感することが大切である。また、**ありのままの自分を肯定的に捉える自己肯定感**や、**他者のために役立った、認められた**という**自己有用感**を育むことも極めて重要。

2. 生徒指導について 生徒指導の実践上の視点



少子高齢化社会

予測困難な変化や急速に進行する多様化への対応



不測の社会的危機



高度情報化社会



多様な他者との共生と協働

実感させることが大切!

主体的に課題に挑戦すること

多様な他者と協働して
創意工夫すること



① 自己存在感の
感受

② 共感的な人間
関係の育成

③ 自己決定の
場の提供

④ 安全・安心な
風土の醸成

学級経営・ホームルーム経営の焦点は、教職員と児童生徒、児童生徒同士の選択できない出会いから始まる生活集団を、どのようにして認め合い・励まし合い・支え合える学習集団に変えていくのかということに置かれる。失敗を恐れない、間違いやできないことを笑わない、むしろ、なぜそう思ったのか、どうすればできるようになるのかを皆で考える **支持的で創造的な学級・ホームルームづくり** が生徒指導の土台となる。そのためには、自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え、行動できる相互扶助的で共感的な人間関係をいかに早期に創りあげるかが重要。

2. 生徒指導について 生徒指導の実践上の視点



少子高齢化社会

予測困難な変化や急速に進行する多様化への対応



不測の社会的危機



高度情報化社会



多様な他者との共生と協働

実感させることが大切!

主体的に課題に挑戦すること

多様な他者と協働して
創意工夫すること



①自己存在感の
感受

②共感的な人間
関係の育成

③自己決定の
場の提供

④安全・安心な
風土の醸成

児童生徒が自己指導能力を獲得するには、授業場面で自らの意見を述べる、観察・実験・調べ学習等を通じて自己の仮説を検証してレポートする等、自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する、制作する等の体験が何より重要である。児童生徒の自己決定の場を広げていくために、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めていくことが求められる。

2. 生徒指導について 生徒指導の実践上の視点



少子高齢化社会

予測困難な変化や急速に進行する多様化への対応



不測の社会的危機



高度情報化社会



多様な他者との共生と協働

実感させることが大切!

主体的に課題に挑戦すること

多様な他者と協働して
創意工夫すること



①自己存在感の
感受

②共感的な人間
関係の育成

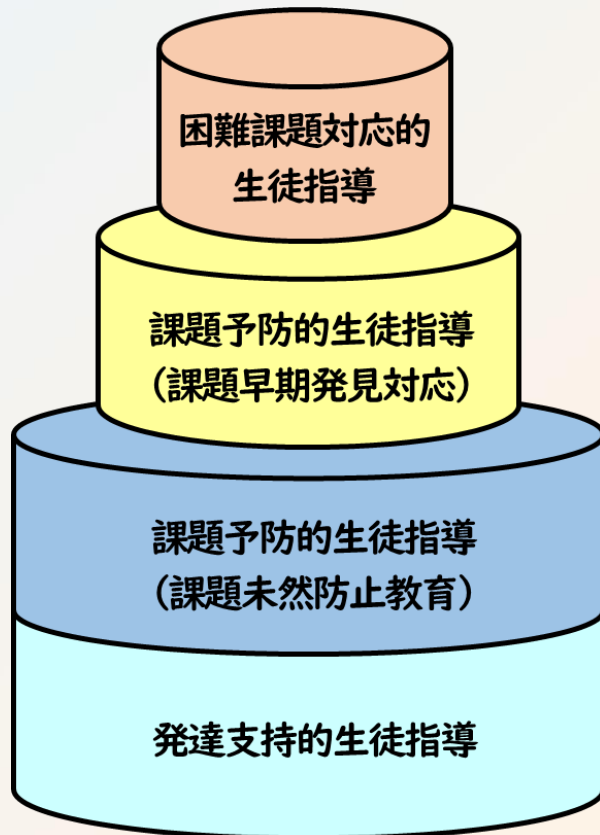
③自己決定の
場の提供

④安全・安心な
風土の醸成

児童生徒一人一人が、個性的な存在として尊重され、学級・ホームルームで安全かつ安心して教育を受けられるように配慮する必要がある。他者の人格や人権をおとしめる言動、いじめ、暴力行為などは、決して許されるものではない。お互いの個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活が送れるような風土を、教職員の支援の下で、**児童生徒自らがつくり上げるようにすることが大切である。**そのためには、教職員による児童生徒への配慮に欠けた言動、暴言や体罰等が許されないことは言うまでもない。

2. 生徒指導について 「指導」から「支援」へ

生徒指導と言うと、課題が起き始めたことを認知したらすぐに対応する（即応的）、あるいは、困難な課題に対して組織的に粘り強く取り組む（継続的）というイメージが今も根強く残っている。しかし、いじめの重大事態や暴力行為の増加、自殺の増加などの喫緊の課題に対して、起きてからどう対応するかという以上に、どうすれば起きないようにするのかという点に注力することが大切である。



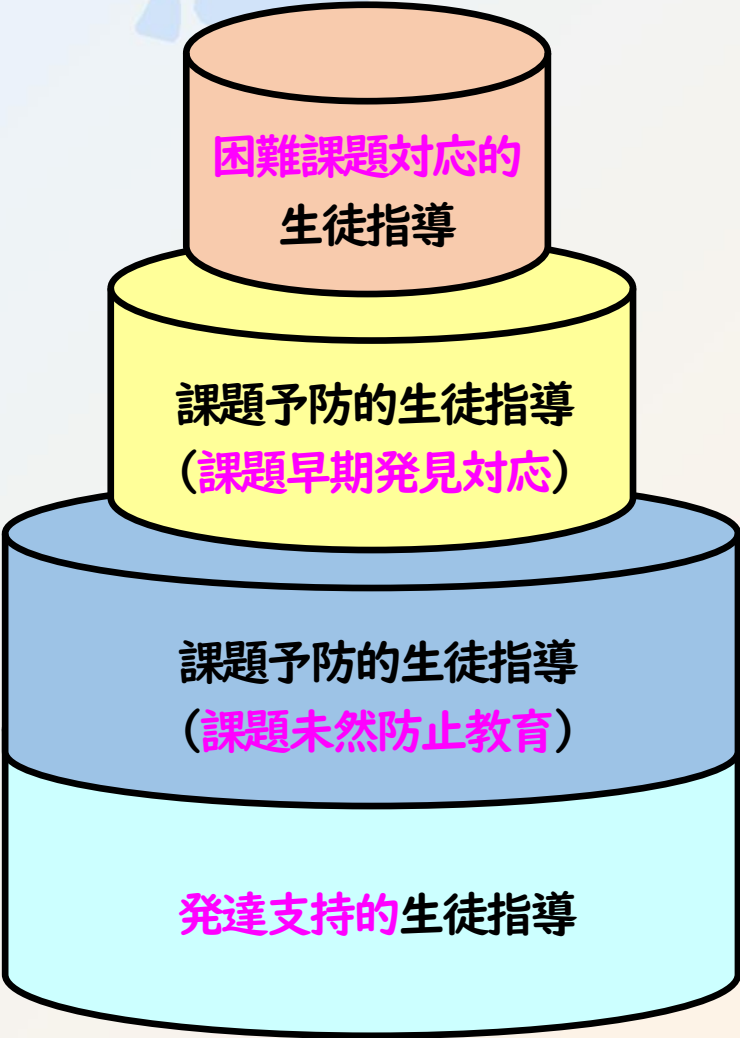
生徒指導は、児童生徒の課題への対応を

「時間軸」「課題性の高低と対応の種類」「対象」

という観点から類別することで、構造化することができる。

生徒指導の重層的支援構造（2軸3類4層）

2. 生徒指導とは 生徒指導の重層的支援構造 (2軸3類4層)



特別な援助が必要な児童生徒に
対する組織的・継続的な支援



気になる児童生徒の早期発見・対応



全ての児童生徒に対する課題の
未然防止に向けた教育・取組



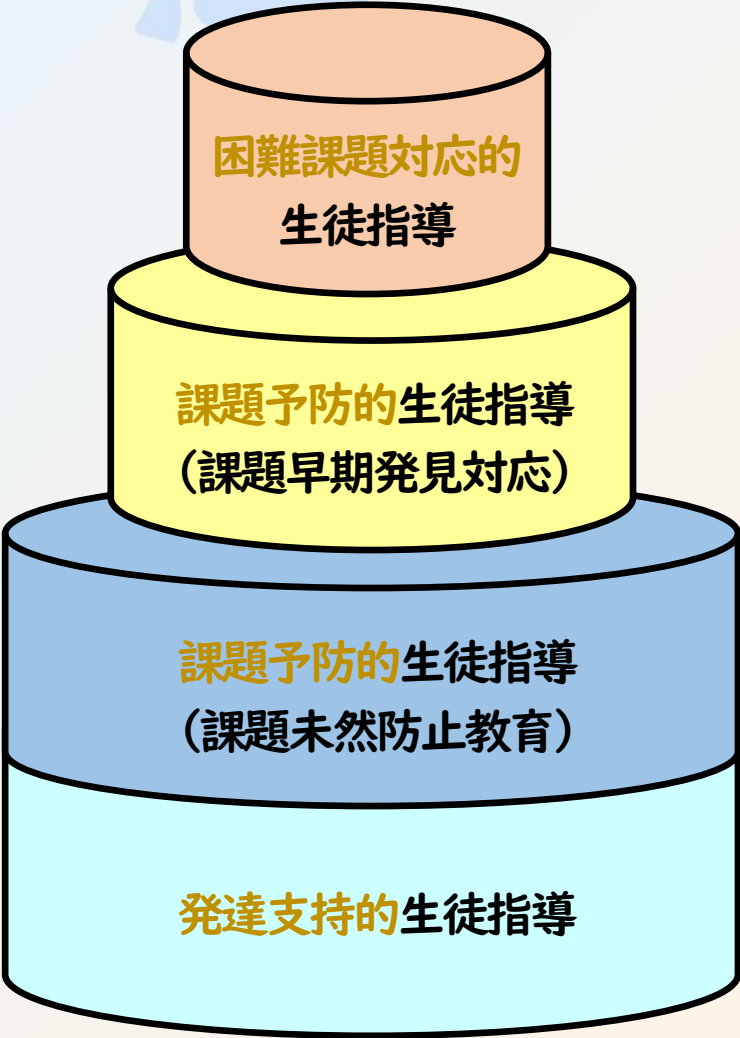
全ての児童生徒の成長を支える
日常的な教職員による働きかけ


即応的・継続的
(リアクティブ)


対応の時間軸


常態的・先行的
(プロアクティブ)


2. 生徒指導とは 生徒指導の重層的支援構造（2軸3類4層）



 特別な援助が必要な児童生徒に
対する組織的・継続的な支援

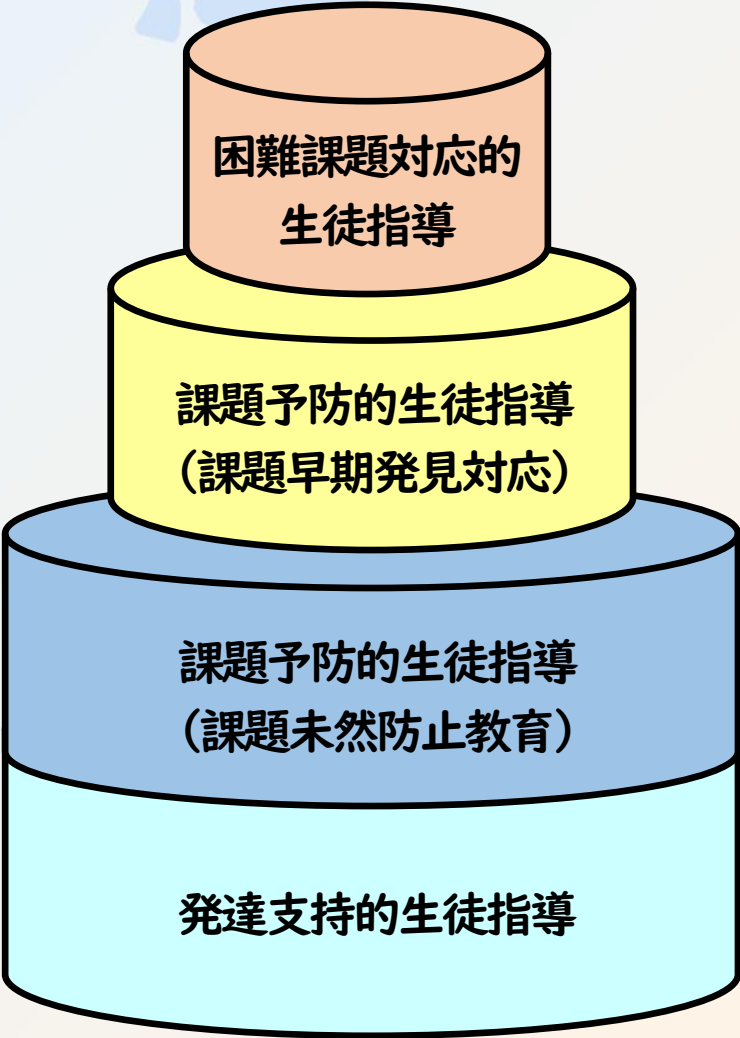
 気になる児童生徒の早期発見・対応


 全ての児童生徒に対する課題の
未然防止に向けた教育・取組


 全ての児童生徒の成長を支える
日常的な教職員による働きかけ





2. 生徒指導とは 生徒指導の重層的支援構造（2軸3類4層）



 特別な援助が必要な児童生徒に対する組織的・継続的な支援

 気になる児童生徒の早期発見・対応

 全ての児童生徒に対する課題の未然防止に向けた教育・取組

 全ての児童生徒の成長を支える日常的な教職員による働きかけ

特定の児童生徒

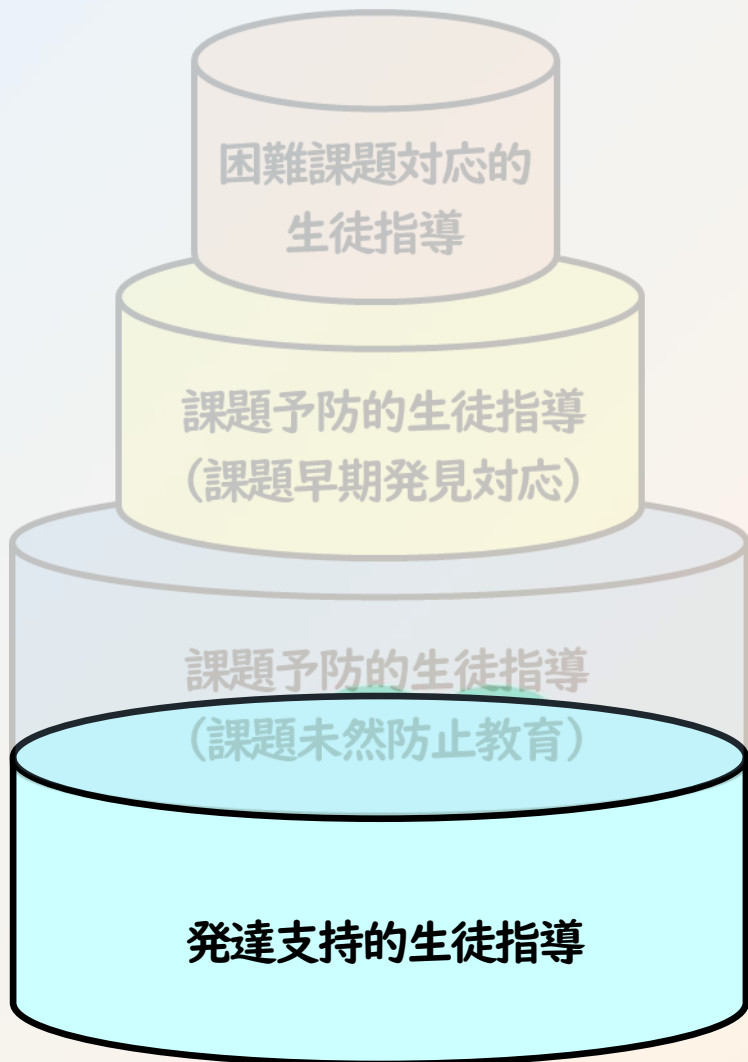
対象

全ての児童生徒

2. 生徒指導とは 発達支持的生徒指導



全ての児童生徒の成長を支える日常的な教職員による働きかけ



自己肯定感・自己有用感を育てる場面の設定

○児童生徒が「一人の人間として大切にされている」と実感できる働きかけ

- ・学級集団において、他者の役に立っていると実感できる活動の工夫
- ・児童会や生徒会活動における異学年交流の積極的な実施等

学級経営の充実

○児童生徒が主体となって集団の質の向上に向かう、学級づくり

集団を育てる

- ・互いの考えや立場を認め合い、支え合う
- ・共に成長の喜びを実感し合う

相互作用

個を育てる

- ・一人一人に活躍の場がある
- ・成功体験を積み重ね、自己肯定感が高まる

児童生徒と教職員との信頼関係づくり

○教員と児童生徒、児童生徒同士の共感的で温かな人間関係づくり

- ・児童生徒への挨拶、声かけ、励まし、称賛、対話及び授業や行事等を通じた個と集団への働きかけ
- ・弱音を吐いたり、人に頼ったりすることができる雰囲気づくり
- ・児童生徒一人一人の強みを教職員間、児童生徒間で共有する場の設定

安全・安心な居場所づくり

○児童生徒一人一人が安心して学校生活が送れるような風土づくり

- ・誰もが「分かる授業」の展開に向けた授業改善
- ・児童生徒の基本的な人権や多様性への配慮
- ・異なる考えや意見を出し合える自由な雰囲気確保
- ・落ち着いて生活することができる規範意識の醸成等

2. 生徒指導とは 課題予防的生徒指導(課題未然防止教育)

全ての児童生徒に対する課題の未然防止に向けた教育・取組

SOSの出し方教育の推進

- 様々な困難・ストレスの対処方法を身に付けるためのSOSの出し方・受け止め方に関する教育の実施
 - ・年1回以上の意図的・計画的な授業の実施
 - ・困ったときの相談窓口となり得る専門家(SC、SS W、養護教諭、地域の保健師 等)と連携した授業の実施
 - ・学校内外の相談窓口の周知等

いじめ防止教育の充実

- 学級活動や児童会・生徒会活動における、児童生徒による主体的ないじめ防止活動の推進
 - ・事例動画から児童生徒同士で検討したり、ロールプレイを行ったりする体験的な学びを取り入れた授業
 - ・いじめを心理的・構造的・法律的な視点から自分事として考える未然防止教育の実施
 - ・法や学校いじめ防止基本方針の理解を深める授業等

校内研修の実施

- 各校の実態に応じた生徒指導に関する校内研修の実施
 - ・全国学力・学習状況調査「学校・児童生徒質問紙」結果の分析
 - ・「教育機会確保法」や「こども基本法」の基本理念の趣旨 等についての共通理解等

問題行動等の未然防止教育の実施

- 薬物乱用防止教室、情報モラル講習会(群馬県警)、
非行防止教室(県中学生非行防止プログラムの活用)の実施

困難課題対応的
生徒指導

課題予防的生徒指導
(課題早期発見対応)

課題予防的生徒指導
(課題未然防止教育)

発達支持的生徒指導

2. 生徒指導とは 課題予防的生徒指導(課題早期発見対応)



気になる児童生徒の早期発見・対応

児童生徒の小さな変化の早期発見

- 児童生徒の危機のサインに気付く丁寧な関わりと観察の徹底
 - ・日常の観察、定期相談、健康観察、アンケート等を通した児童生徒の変化の早期発見
 - ・表情やしぐさ等、児童生徒の変化に気付いた際の積極的な声掛け、チャンス相談等

いじめの早期発見・解消

- 法に基づくいじめの積極的な認知と、学校いじめ対策組織による組織的な早期支援の実施
 - ・いじめを受けた児童生徒の安全と安心の確保、不登校、仕返し被害等の未然防止
 - ・いじめを行った児童生徒の背景に目を向けた成長支援（傍観者への支援を含む）等

SOSを受け止める体制の整備と支援

- 担任の抱え込みを防ぎ、身近な教職員と連携したタイムリーな支援の実施
 - ・学年会や部会等、既存の会議の場における生徒指導上の情報交換と共有、気になる児童生徒の洗い出し（スクリーニング）
 - ・担任と学年職員、生徒指導主事等、比較的少人数のチームで連携した即応的・機動的な支援（機動的連携型支援チーム）等

困難課題対応的
生徒指導

課題予防的生徒指導
(課題早期発見対応)

課題予防的生徒指導
(課題未然防止教育)

発達支持的生徒指導

2. 生徒指導とは 困難課題対応的生徒指導



特別な援助が必要な児童生徒に対する組織的・継続的な支援

困難課題対応の
生徒指導

課題予防的生徒指導
(課題早期発見対応)

課題予防的生徒指導
(課題未然防止教育)

発達支持的生徒指導

学校内におけるチーム支援(校内連携型支援チーム)

- いじめや不登校等により特別な支援が必要なケースにおける教職員によるチーム支援の実施
 - ・SC・SSW・SL等による心理・福祉・法の観点からの見立て(アセスメント)
 - ・役割分担を明確にした組織的支援と定期的なケース会議による支援の評価 等

学校外の専門家との連携によるチーム支援(ネットワーク型支援チーム)

- 緊急事態等、校内だけでは対応が難しい事案に対する、学校外の機関等の専門性を活かした、危機介入や対応
 - ・緊急事態発生時の教育委員会への速やかな報告と相談 ・SCSV、派遣型SSW、特別支援教育専門相談員の積極的な活用
 - ・犯罪行為として扱われるべきいじめに対する警察署と連携した対応 等



3. 児童生徒理解 児童生徒理解とは

児童生徒理解とは…

児童生徒の発達や課題に関連する状況について
情報を収集して、分析し、共有すること。

→ **アセスメント**
支援目標や方法を決定するための
資料を提供するプロセス

学習面

知能・学力、興味・関心・学習意欲、
得意な学習スタイル等

健康面

生活習慣・メンタルヘルス等

心理面

自己肯定感、自身・劣等感等

進路面

進路意識・将来展望等

社会面

友人・教職員・家族との人間関係、集団適応等



3. 児童生徒理解 児童生徒理解の方法

(1) 観察

授業中、学級・ホームルーム活動の時間、行事の時間で、児童生徒の言動を観察し、メモや記録をつくる。学級全体の様子を見ることも、気になる児童生徒一人一人に焦点を当てることもある。児童生徒の課題の提出物、生活記録、作文、作品なども観察の対象である。

(2) 面談

児童生徒との定期面談や時折の面談、三者面談は、児童生徒の貴重な機会である。面談は、受容的かつ共感的に傾聴することを心がける必要がある。

(3) 質問紙調査

観察や面談で見落とした児童生徒のSOSを把握するために役立つ。生活実態調査、進路希望調査、いじめアンケートなどの結果は、校内連携型支援チーム等で分析し、課題早期発見対応等に関する判断につなげる必要がある。

(4) 心理検査

集団式の学力検査・知能検査は全ての児童生徒を理解する資料になる。また、必要に応じて個別の知能検査などは、児童生徒理解の困難課題対応的生徒指導のための「個別の教育支援計画」の作成に使われる。

(5) 文書精読

学校内には出欠・遅刻・早退の記録、保健室利用状況の記録、引継ぎ文書等がある。また、児童相談所や病院から、児童生徒の状況について報告書が届くこともある。文書の精読は、児童生徒理解に役立つ。

機動的連携型支援チーム

学級(ホームルーム)担任が一人で問題を抱え込まずに生徒指導主事等と協力

校内連携型支援チーム

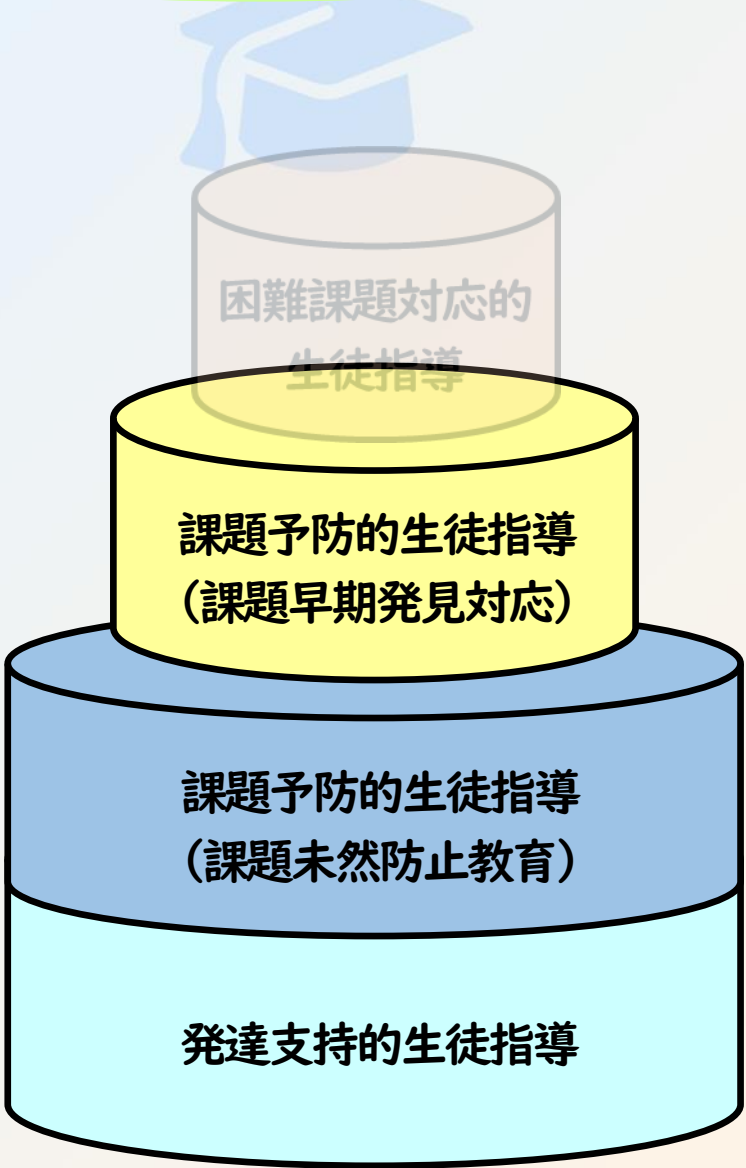
生徒指導主事や教育相談コーディネーター、学年主任、養護教諭、SC、SSW等校内の教職員が連携・協働

ネットワーク型支援チーム

校外の関係機関等との連携・協働

- ①チーム支援の判断とアセスメントの実施→②課題の明確化と目標の共有→③チーム支援計画の作成
④支援チームによる実践→⑤点検・評価に基づくチーム支援の終結・継続

4. 実際に対応を考える グループにおける検討



グループ入力シート（1班）		
発達支持的生徒指導	全ての児童生徒の成長を支える日常的な教職員による働きかけ	
①自己肯定感・自己有用感を育てる場面の設定 児童生徒が「一人の人間として大切にされている」と実感できる働きかけ	全ての児童生徒の成長を支える日常的な教職員による働きかけ ・学級集団において、他者の役に立っていると実感できる活動の工夫	
	ポイント（例） 役割の見える化 助け合いの仕組み化 承認の言語化	
	・児童会や生徒会活動における異学年交流の積極的な実施等	
②学級経営の充実	ポイント（例） 頼られる役割 共通の目的 選べる関わり方	
	・児童生徒が主体となって集団の質の向上に向かう、学級づくり	
	ポイント（例） 自分たちで決める みんなで振り返る	

+ ≡ 1班 ▾ 2班 ▾ 3班 ▾ 4班 ▾ 5班 ▾ 6班 ▾ 7班 ▾ 8班 ▾ 9班 ▾ 10班 ▾ 11班 ▾ 12班 ▾ 13班 ▾ 14班 ▾ 15班 ▾ 16班 ▾ 17 < >

- ※どのような対応ができるのか具体的に考える。（ポイント例を参考に）
- ※「発達支持的」「未然防止」「早期発見」をまんべんなく考える。
（下にいくと、「未然防止」「早期発見」もあります。）
- ※既に現場経験がある方については、「経験がないと考えるのが難しい」と思うところをぜひ検討（入力）してください。
- ※「グループで検討→全体」で共有という流れで行います。

4. 実際に対応を考える グループ入力シート一覧

- 1班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=0#gid=0>
- 2班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=1912065296#gid=1912065296>
- 3班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=1569964417#gid=1569964417>
- 4班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=1978586930#gid=1978586930>
- 5班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=554683287#gid=554683287>
- 6班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=1363951035#gid=1363951035>
- 7班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=667173468#gid=667173468>
- 8班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=2116576678#gid=2116576678>
- 9班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=283377906#gid=283377906>
- 10班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=1337581826#gid=1337581826>
- 11班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=931087785#gid=931087785>
- 12班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=505408042#gid=505408042>
- 13班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=329378472#gid=329378472>
- 14班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=700234291#gid=700234291>
- 15班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=726102711#gid=726102711>
- 16班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=606608651#gid=606608651>
- 17班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=73327366#gid=73327366>
- 18班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=2013446850#gid=2013446850>
- 19班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=1698107928#gid=1698107928>
- 20班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=2021376041#gid=2021376041>
- 21班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=2017486301#gid=2017486301>
- 22班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=517669034#gid=517669034>
- 23班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=561458998#gid=561458998>
- 24班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=78439882#gid=78439882>
- 25班: <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1fLUDfrQ2D7kZOKCCYQDJpJlyTJtgD7WrqvGyOsHvLm8/edit?gid=495847220#gid=495847220>



5. 最後に 学校現場に出るにあたり

〔今から準備（意識）しておけるとよいこと〕

☑️「ほう・れん・そう」にプラス

→「相談（判断できない段階）」、「連絡（足並みを揃える段階）」、「報告（結果が出た段階）」に加えて…「**確認**→相談→**準備**→連絡→報告」を意識して普段から行動する習慣をつける。

☑️生徒指導提要や教育書などを読んで自ら学んでおく。

→・「どこに何が書いてあるのか」を把握しておくだけでも違います。

・「**学ぶ**」ということを、**今から経験**しておく。（その姿が、児童生徒に伝わります。）

☑️様々な経験をしておく。（私は、大学生の 때가最も時間にゆとりがありました。）

→・**実際に人と関わり、相手の気持ちなどを考え、それに応じた行動**ができるようにしておく。

・“**何気ないもの**”が教材として活用できるので、**今からネタとして蓄積**しておけるとよい。

5. 最後に 参考・引用文献

- 群馬県教育委員会「児童生徒理解に基づく、成長を支える生徒指導の充実」（2025）
- 文部科学省「生徒指導提要（改訂版）」（2022）
- 八並 光俊、石隈 利紀、田村 節子、家近 早苗「やさしくわかる 生徒指導提要ガイドブック」、明治図書（2023）

